



園児のプレゼントにほほえむ市長

五月の雨に濡れる新緑は、腕は何れにせよ、画きたい心をかき立てる。
秋の美しさもさることながら、日光では、過ごし易い季節が期待される今の美しさは心安まるように思う。

寸描

よく言われるように、表現可能な緑の色は、八百もあると言う。
諸々の行事や事業を考える時、まさに幾多の要素があり、条件がかせられる。
遂行には、分析をし、要件が満たされる努力が積み重なって行く。
貴重な成果に向って行く時の情熱と誠意は、絵を画き上げることも似ていようか……。

日光市長

斎藤善蔵



黄綬褒章

漆一筋に 杉山才一氏

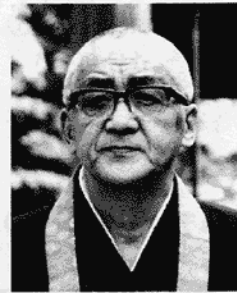
戦前から建造文化財の漆塗りの修復の仕事に打ち込んできた杉山才一氏（匠町六一一）が、長年にわたって、ひ

とつの仕事に打ち込んできた人たちに贈られる黄綬褒章を受章しました。
同氏は、大正五年八月二十二日生まれ、七十二歳。

藍綬褒章

更生の手助け33年 千田孝信氏

保護司の千田孝信氏（上野石町一〇〇三）が、藍綬褒章を受章しました。
同氏は、大正十五年一月二十二日生まれ、六十三歳。



十六歳の時、漆塗りの道に入り、以来四十二年間、東照宮、輪王寺、二荒山神社の二社一寺を中心に全国の有名神社仏閣の修理を手掛けました。

昭和三十一年から保護司となり、罪を犯してしまった人の更生援助や、犯罪予防の啓発に努められ、地域社会の浄化、福祉向上に多大の功績を残されました。
また、日光保護区保護司会長、栃木県保護司連盟副会長の要職にあります。

紙上 施設めぐり

「日光市働く婦人の家・ 日光勤労者体育センター」



日光市働く婦人の家は、主として働く婦人等の福祉の増進を図ることを目的として、昭和五十九年に日光電気リンク南側に建設されました。

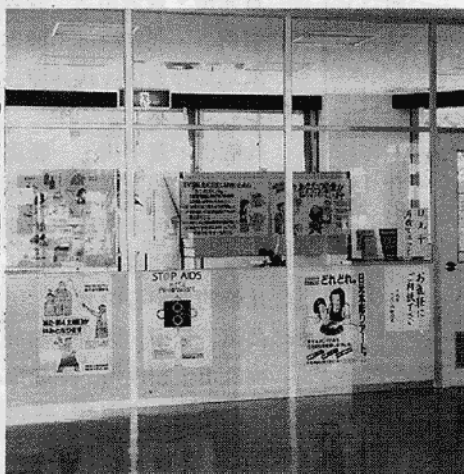
婦人の家には、調理実習室・和室・軽運動室・図書コーナー・消費生活コーナーなどを備え、それぞれの目的に合わせた利用ができます。
また、婦人等の地位向上と人間性豊かな生活を築きあげるため、年間を通して各種講座が開講されています。文化・教養を高めることはもとより、人と人との触れあいの場ともなっています。

併設して日光勤労者体育センターがあります。これは、勤労者のための体育施設を充実させ、雇用の安定を目的として設置されたもので、バレー・バスケット・テニスなど

ができる屋内体育館、ウェイトトレーニング室が備えられ、各種大会はもとより、広く市民の地位向上と体育振興の場として利用されています。

他にも、ミニ運動会、レクリエーション等にも利用され交流の場としての役割を果たしています。
両館とも開館時間は、午前9時から午後9時までです。休館日は、毎週水曜日の午後5時以降と祝祭日及び年末年始です。

▼日光勤労者体育センター・日光市働く婦人の家
四一―一―一内線一六八・五三一―一〇一〇



▶買物についての相談、消費生活に係る苦情処理 情報の提供をする消費生活コーナー

▲左側が勤労者体育センター、右側が働く婦人の家